

「ゼロカーボン埼玉」の取組へのクレジット提供に対する 大野元裕 埼玉県知事からの謝意メッセージ

この度は、「ゼロカーボン埼玉」に御賛同、御協力を賜り、心から感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染拡大の防止につきましても、各企業の皆様には格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、国内外で地球温暖化の影響と考えられる気象災害が多発しています。本県においても、台風や豪雨による災害の激甚化や熱中症患者の増加などが見られ、私としても強い危機感を持っておりま

す。

菅義偉総理大臣は昨年 10 月の臨時国会において所信表明演説を行い、そこで 2050 年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言されました。本県でも目指すべき将来像として脱炭素社会の実現を掲げ、温暖化対策に取り組んでおります。目標設定型排出量取引制度は本県の温暖化対策の重要な柱です。平成 23 年度の制度開始以来、皆様の御協力もあり、二酸化炭素削減に大きく貢献し、平成 30 年度の実績では削減目標の 2 倍を超える結果となっております。

ゼロカーボン埼玉は、こうした事業者の皆様が二酸化炭素排出削減分を、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などの開催に伴い排出される二酸化炭素との相殺に活用するものです。この取組への協力を呼びかけたところ、皆様方をはじめ 65 の事業者から 96 万トンものクレジットの御提供いただきました。これは、埼玉県土の約 46 パーセントの面積と同じ広さのブナ林が 1 年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。皆様には、改めて心から感謝を申し上げます。

本年はいよいよ東京 2020 大会が開催されます。国際的スポーツ大会でのカーボンオフセットの取組は、オリンピック・パラリンピックでは 2012 年のロンドン大会に始まり、他にサッカーワールドカップでも行われるなど大きな潮流となっています。その中でゼロカーボン埼玉の取組は事業者の皆様がのたゆまぬ温暖化対策に支えられているものであり、東京 2020 大会のレガシーの一つになると確信しております。

私たちには、より良い環境を次世代に引き継いでいく責務があります。本県では経済と環境を両立させ、「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現のため、埼玉版 SDGs を推進しているところです。今後とも、皆様の力強い御支援・御協力をお願い申し上げます。